

第3回 東京都緩和医療研究会 学術集会

日時 2015年10月18日(日)
11:00~17:00 10時より受付

場所 国立がん研究センター 築地キャンパス
管理棟 特別会議室/第1会議室(中継)

大会長 加藤 雅志
国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部長

後援: 東京都、公益社団法人東京都医師会、公益社団法人東京都看護協会
特定非営利活動法人日本緩和医療学会、一般社団法人日本癌治療学会
公益社団法人日本臨床腫瘍学会、一般社団法人日本緩和医療薬学会
一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会、国立研究開発法人国立がん研究センター

深めよう！東京都

—患者への理解、緩和ケアの知識・技術と情報、そして関係者の連携—



東京都緩和医療研究会は東京都在職の日本緩和医療学会理事と地区委員が発起人となり、東京都内の緩和医療の関係者が顔を合わせ、緩和医療のあり方について学術的に意見交換し、地域の連携について話し合う機会を作っていくことを目的として設立されました。

この学術集会は医療福祉従事者を通じて、患者・家族に緩和ケアの正しい理解を広げていくことも目指しており、日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発事業（オレンジバルーンプロジェクト）に参加しています。

*オレンジバルーンプロジェクトとは、国民の方々に緩和ケアについての正しい知識を広げていくためのプロジェクトです。



プログラム

11:00-11:10 【開会挨拶】	
11:10-12:00 【教育講演】	座長: 清水 研(国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)
進行がん患者の意思決定支援 —オンコロジストと緩和ケアチームのコラボレーション—	清水 千佳子 (国立がん研究センター中央病院 乳腺腫瘍内科外来医長) 里見 絵理子 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科長)
13:00-13:20 【講演】	座長: 三宅 智(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野/医学部附属病院腫瘍センター)
東京都の緩和ケアの課題 —意見交換会より—	細矢 美紀 (国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部)
13:20-13:45 【基調講演】	座長: 橋口 さおり(慶應義塾大学医学部麻酔学教室/慶應義塾大学病院緩和ケアセンター)
東京都がん地域医療連携モデル病院事業の概要	白井 淳子 (東京都福祉保健局医療政策部歯科担当課長)
13:45-15:25 【シンポジウム】東京都の緩和ケアの課題と解決のための具体的な取組み	座長: 加藤 雅志(国立がん研究センター) 吉澤 明孝(要町病院)
病院と在宅の医療者による合同カンファレンスの取組み	宮田 佳代子 (国立がん研究センター中央病院 相談支援室)
早期からの地域連携が生む安心感 ~東京都がん地域医療連携モデル病院としての連携ハブ機能~	廣橋 猛 (永寿総合病院 がん診療支援/緩和ケアセンター長)
田園調布医師会の在宅医療連携調整窓口の取組み	井岡 幸子 (田園調布医師会 在宅医療連携調整窓口担当)
情報提供のための協働体制に向けて	大井 賢一 (特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー事務局長)
15:45-16:45 【事例検討】	座長: 越川 貴史(越川病院) 金子 健 (慶應義塾大学病院薬剤部)
緩和ケア施設と一般病院の連携によるKM-CARTの繰り返し施行が効果的な症状緩和につながったがん性腹水症例より ~大量の腹水で苦しむ患者に、今我々ができること、すべきこと~	○松崎 圭祐、池田 博斉、吉澤 明孝 (要町病院 腹水治療センター)
医療連携によって実現する患者中心の意思決定支援	岩本 ゆり (楽患ナース訪問看護ステーション所長)
16:45-16:50 【総括】	
16:50-16:55 【第4回学術集会大会長挨拶】	
16:55-17:00 【閉会挨拶】	

参加申込み

学術集会HPまたはFAXにて事前にお申し込みください

【参加費】

東京都緩和医療研究会 会員: 2,000円

非会員: 3,500円

【運営事務局】

国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部内

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

TEL:03-3547-5201 (内線1703) FAX:03-3542-3495

URL:<http://tokyokanwa.sakura.ne.jp>